

第330回 群馬大学アナログ集積回路研究会

講演：白色LEDの現状と今後

講師：久保文雄先生（応用科学学会 副会長）

日時：2017年6月30日（金） 14:20～15:50

場所：群馬大学工学部（桐生キャンパス）3号館509号室（E大教室）

概要：

高効率青色発光ダイオードの発明で、日本人3氏がノーベル賞を受賞したことは記憶に新しい。当時の新聞にはこう書かれている。

『日本は戦後、先ごろ開業50年迎えた新幹線や自動車、家電など「生活に役立つ技術」で奇跡の復興を成し遂げた。

青色LEDは、こうした日本の伝統をも受け継ぐ。科学技術分野で日本の地盤沈下が指摘される中、その底力を示した。』

しかしながら、産業面においてその底力は果たして絶対的なものであったのかを検証してみる。


LED: Light Emitting Diode 発光ダイオード





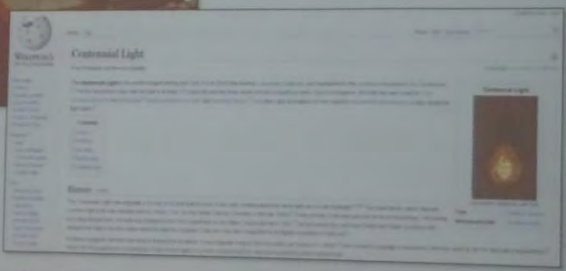


Centennial Light



カリフォルニアの消防署には、1901年に設置された白熱電球が今も点灯。「Centennial Light」(百年電球)と呼ばれている。Wikipediaでも紹介。

白熱電球は、効率は別として、決して寿命が短い訳ではない。



点灯の様子がリアルタイムで見られる

<http://www.centennialbulb.org/cam.htm>


群馬大学アナログ集積回路研究会 2017年6月30日

点灯の様子がリアルタイムで <http://www.centennialbulb.org/cam.htm>

朝日新聞
DIGITAL

祝ノーベル賞、カクテル「天野ブルー」で乾杯 名古屋

新井 涼子 2014年12月5日 19時45分



「天野ブルー」=名古屋市中津区

青色発光ダイオード（LED）の発明でノーベル物理学賞に決まった赤崎勇・名城大教授（85）と、天野浩・名古屋大教授（54）の地元、名古屋が祝福ムードに沸いている。

天野さん行きつけの名大近くの居酒屋「とりとり亭」本店（名古屋市中津区）は、オリジナルカクテルを作った。その名も「天野ブルー」。おかみの渡辺結子さんは「天野ちゃんが帰国したら、ぜひお出ししたい」と話す。

「天野ブルー」は、天野研究室の学生らが7日夜、受賞のお祝い会を店を開いた際、渡辺さんが考案した。青色のリキュールとグレープフルーツジュース、トニックウォーターを混ぜ、青色LEDの輝きを再現した。

群馬大学アナログ集積回路研究会 2017年6月30日



● この分野は「山上更に山有り」であると思った。

● 次の言葉を思い出す。

「サイエンス(科学)と違って インダストリー(産業)には
クリエイティビティー(創造性)が3種類必要になる。

テクノロジーのクリエイティビティー、

プロダクトプランニングのクリエイティビティー、

マーケティングのクリエイティビティー である。」

ソニー 盛田昭夫氏